31 参加局登録につい

31.1	参加局を登録/削除しよう!	31-2
31.2	参加局を検索しよう!	31-7
31.3	画面プロジェクトファイル (PRX) からも情報を Get できる!	31-15
31.4	画面プロジェクトファイル (PRX) 転送済みの表示器からも情報を Get できる!	31-21
31.5	設定ガイド	31-26
31.6	制限事項	31-37

31.1 参加局を登録/削除しよう!

『Pro-Server EX』を使用するためには、ネットワーク上にあるパソコンおよび表示器を「参加局」と して登録する必要があります。 登録情報として、局名、IP アドレスなどの通信情報、接続機器の種類などを設定します。 この節では、参加局の登録および削除について説明します。

MEMO	•	W	inGP』	と『Pro	o-Sei	rver EX』	が同じ	ペソコン	/ 表示	器にイン	スト	ールさ	れてい	る場合で
	1	ŧ,	参加	局として	ては	「SP-5B4	*/WinGF	局」と	[Pro-S	Server EX	局」	を別々	に登録	する必要
		がま	ゎりま	す。										

31.1.1 参加局を登録しよう

1 状態バーの [参加局] アイコンをクリックします。

🂱 Pro-Studio EX 🛛 ?.npx	
ファイル(E) 編集(E) <u>ツール(T) プログラ</u>	ミング補助(P) 設定(S
	אדע 🔶 איזע
- サンプルウィザード	
新規にネットワークを構築します。 サンプルを選択してください。	
💁 帳票作成	2Way차:
📲 ৮৯৫	GPおよて 票を作った!
🚱 データロギング	バソコンとを
Mail送信	Pro-Stu

2 画面左のツリー表示から参加局の種類を選択し、[参加局の追加] ボタンをクリックします。

Pro-Studio EX ?npx 「一」 (中生に、 信任に、 シリール(エン・ボードニン)						
ファイルビディー 編集(ビデッールエリーブログラミ.						
29-ト ン 🟹 参加局 ン						
🕆 参加局の追加						
🗟 参加局の削除						
💁 参加局の検索						
Pro-Server EX						
▶ SP-5B4*/WinGP						
→ SP-5B00/5B10/5B90						
▶_ <u>_GP4000/LT4000シ</u> リーズ						
> L13000						
└── ▶ GPシリーズ						

3[局名]および [IP アドレス](GP シリーズは [局名]、[IP アドレス]および [サブネットマスク] を入力。必要であれば [ゲートウェイ] も入力) を入力します。

参加局の追加		X
┌参加局の種類 ────		
C Pro-Server EX	◯ SP-5B4*/WinGP	○ SP-5B00/5B10/5B90 ○ GP4000/LT4000シ リーズ
● GP3000シリーズ	C LT3000	C GPシリーズ
局名		Ͳアドレス
AGP1		192_168_0_100
□ 機器情報とシンボル情報	履のリンク ―――	
◎ ブロジェクトファイル		参照 🔽 自動更新
○ オンラインで情報 の読込み	更新	
-		接続機器の追加 接続機器の削除
接続機器 - 1		
メーカー	▼ 機器の	種類
ポートの種類	▼ オ	ペート設定 最大 文字列モード 1 二
削除		
機器名	機器の設定	<u>E</u>
システムエリア機器		システムエリア
		登録 キャンセル

4 [メーカー]、[機器の種類] および [ポートの種類] のリストボタンをクリックし、接続機器の設定 を行います。

(参加局の種類で「GPシリーズ」を選択した場合は、[機器の種類]のみ設定します)。

メーカー し三菱電	機(株) 💽 機器の種	£#	1 V M
ポートの種類	ポート設定は最	大	リロ結サネットは
	一種界の設定	ロックース 計画 ロックレーズ CP	⊒1歳リンク U 直結 プ イーサネット
11269-00	1766-018212		<い りホット ルコミュニケーシ PII 直結
4		FX シリーズ 計	算機にな
システムエリア機器	7	システムエリア 先頭デバイス	

MEMO ・ 接続機器情報は、必ず実際の表示器の接続機器と合わせてください。実機と違った設定 を行うと正しく動作しません。

- 選択した接続機器の種類によっては、以降の項目の内容が自動的に設定されます。 内容を変更する場合のみ、以下の手順を行って下さい。
- 選択した接続機器の種類によっては、手動で設定を変更できません。

5 [文字列モード] の▲/▼ボタンをクリックし、接続機器で扱う文字列モードを指定します。

メーカ	- 三菱電機(株 の種類 COM ▼	〉 ▼ 機器の利	種類 A シリーズ CPU 直結 a 大 1 文字列モード	2
	1)除 株器名	機器の設定		-
•	PLC1	シリーズ= An	Aシリーズ	
4				
277	ムエリア機器 PLC1	•	<u> </u>	, i

- MEMO ・ 文字列モードは、[機器の種類] または [ポートの種類] を選択した時点で自動的に設定されます。変更する場合のみ、この操作を行ってください。
- 6 [機器名] 欄をクリックし、接続機器の名称を入力します。

メーカー 三菱電機(
機器名 ▶ PLC1	
1	
システムエリア機器 PLC1	システムエリア D0000 大頭デバイス
	容録 ちゃいわり

- MEMO ・ 接続機器の名称、種類、設定を『GP-Pro EX』で設定した内容と完全に一致させてくだ さい。不正なデバイスにアクセスする可能性があります。
- 7 [機器の設定] 欄をクリックし、機器の設定を行います。

機器の設定			
シリーズ=An/	キシリーズ	Þ	シリーズ AnAシリーズ C AnNシリーズ シリーズによりアドレ人範囲が異なります。
•	システムエリア D0000 先頭デバイス		シリースを変更した場合は、すぐに使用されているアトレスを 再確認してください。 初期設定
	登録	キャンセル	OK キャンセル

8 [システムエリア機器] のリストボタンをクリックし、システムアドレスを割り当てる接続機器を選 択します。

接続機器 - 1	接続機器の追加 接続機器の削除
メーカー ボートの種類 削除	・ 機器の種類 A シリーズ CPU 直結 ・ ボート設定 最大 1 文字列モード 2
K器名 ▶ _C1	様器の設定 シリーズ= AnAシリーズ
システムエリア機器。 <mark>PLC1 (PLC1) 、</mark>	システムエリア D0000 通 先頭デバイス 登録 キャンセル

9 [システムエリア先頭デバイス] に、割り当てるシステムエリアの先頭デバイスアドレスを入力しま す。

直接入力するか、電卓ボタンをクリックし、デバイスアドレス入力画面で入力します。

接続機器の追加 接続機器の削除	otasuke
接続機器 - 1	するには、ネットワークに 暴する必要があります。
メーカー 三菱電機(株) 【機器の種類 A シリーズ CPU 直結 ▼ ポートの種類 COM ポート設定 最大 1 文字列モード 2 削除 影器名 機器の設定	を登録します。
▶ _C1 シリーズ=AnAシリーズ	 ズ表示器およびGPIこ接組
	コトコル)まで、プロトコル できます。
システムエリア機器 PLC1 システムエリア D0000 (D	- 0000
登録 キャンセル A	k Clr B C 7 8 9
	E F 4 5 6 1 2 3 0 Ent
パソコン (Windows PC局)	OK キャンセル

10 [登録] ボタンをクリックします。

設定した内容で参加局が登録されます。

31.1.2 参加局を削除しよう

1 画面左の参加局一覧から削除する参加局を選択し、[参加局の削除] ボタンをクリックします。



2 下記の削除を確認するメッセージが表示されます。 [はい] ボタンをクリックします。選択した参加局が削除されます。



MEMO ・ 参加局を削除することで、機能画面で設定した内容において矛盾が発生する可能性があ ります。必ず整合性のチェックでネットワークプロジェクトファイルの内容をチェック してからリロード、転送を実施してください。

31.2 参加局を検索しよう!

31.2.1 参加局の検索とは?

参加局の登録はネットワーク上のパソコンおよび表示器をひとつひとつ個別に登録することもできま すが、検索機能により不参加局のみ検出して登録することができます。 現場へ行って各表示器のイーサネット設定を確認することなく、簡単に登録を行うことができます。



MEMO
 検索範囲(見つけることのできる参加局)は、検索を行うパソコンの IP アドレスのクラス ID が同じ参加局です。別クラスやルーターを越えた参加局は検索することができません。

この項では、検索機能を利用した参加局の登録について説明します。

1 状態バーの [参加局] アイコンをクリックします。

🂱 Pro-Studio EX 🛛 ?.npx	
ファイル(E) 編集(E) <u>ツール(T) プログラ</u>	ミング補助(P) 設定(S
29-1 29-1 20 参加局	<mark>></mark> ≽ эхжи
- サンプルウィザード	
新規にネットワークを構築します。 サンブルを選択してください。	
	帳票作戶
ଂଜ । ୬୯	『Pro-8 ど、Excel飛
🔓 データロギング	『帳票f
Mail送信	のテンブレ 成します。 要となる設

2 画面左の [参加局の検索] ボタンをクリックします。



参加局の検索が開始され、「参加局の検索」画面が表示されます。

「参加局の検索」画面には、現在ネットワークに接続されている機器数(発見局数)および参加局に 登録されていない局数(未参加局数)が表示されます。

	<u> </u>	-				
	参加局切検察	Ę	_		×	
Pro-Serv	参加状態	IPアドレス	局名	機器の種類	参加月	続
されている	未参加	192.168.0.100	_AGP1		GP30	ET
	未参加	192.168.0.1	_PC1		Pro-S	
- Pr						
• "						
					_	
• GF						
-						1 <u>5</u>
参加局の検索						×
	窓目 局数・2 🗦	ま参加局数・2				
 検索完了 未参加局を 	発見局数:2、ま ネットワークプロ:	未参加局数:2 ジェクトに参加させる	。場合は、その月	局を選択し[参加させ	る]ボタンをク	<u>リックして</u> ください。
() 検索完了 未参加局を 注意 不明	発見局数:2、ラ ネットワークプロ: な局は、 局名を	未参加局数:2 ジェクトに参加させる _GP?、局の種類を!	場合は、その月 Pro-Server E>	局を選択し[参加させ としています。参加さ	る]ボタンをク 5せる場合は	リックしてください。 正しい設定に変更してくだ
 	発見局数:2、ヲ ネットワークプロ: な局は、局名を	未参加局数:2 ジェクト(こ参加させる _GP?、局の種類を)場合は、その月 Pro-Server E>	号を選択し[参加させ としています。参加さ	る]ボタンをク 5せる場合は	リックしてください。 正しい設定に変更してくだ
() 検索完了 未参加局を 注意 不明 ざい。	発見局数:2、ラ ネットワークブロ: な局は、 局名を	未参加局数:2 ジェクト(こ参加させる _GP?、局の種類を 	が場合は、その凡 Pro-Server E> OK	局を選択し[参加させ としています。参加さ	る]ボタンをク そせる場合は	リックしてください。 正しい設定に変更してくだ
 	発見局数:2、ラ ネットワークプロ: な局は、局名を	未参加局数:2 ジェクトに参加させる _GP?、局の種類をⅠ	が場合は、その月 Pro-Server E> OK	品を選択し[参加させ 企しています。参加さ	る]ボタンをク 5せる場合は	リックしてください。 正しい設定に変更してくだ
 	発見局数:2、ラ ネットワークブロ: な局は、局名を	未参加局数:2 ジェクトに参加させる _GP?、局の種類を 	が場合は、その月 Pro-Server E> OK	局を選択し[参加させ としています。参加さ	る〕ボタンをク させる場合は	リックしてください。 正しい設定に変更してくだ
 	発見局数:2、ラ ネットワークブロ: な局は、局名を	転参加局数:2 ジェクトに参加させる _GP?、局の種業類を [o場合は、その月 Pro-Server E> OK	うを選択し「参加させ としています。 参加さ	る]ボタンをク させる場合は 2015年1月 2015年1月	リックしてください。 正しい設定に変更してくだ
 	発見局数:2、ラ ネットワークブロー な局は、局名を	ジェクトに参加させる 「GP?、局の種業類を 「	場合は、その月 Pro-Server E) OK	局を選択し[参加させ としています。参加さ	る]ボタンをク せる場合は 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015年1月1日 2015 1015 1015 1015 1015 1015 1015 1015	リックしてください。 正しい設定に変更してくだ
 	発見局数:2. ラ ネットワークブロ: な局は、局名を	転参加局数:2 ジェクトに参加させる 「GP?、局の種業類を」	の場合は、その月 Pro-Server E> OK	読を選択し[参加させ としています。参加さ ■■■■■■ べださい。	る]ボタンをク させる場合は 2000円 20007	リックしてください。 正しい設定に変更してくだ ぎを ープ
 	発見局数:2. ラ ネットワークプロ: な局は、局名を	株参加局数:2 ジェクトに参加させる _GP?、局の種業類を 	の場合は、その月 Pro-Server E> OK ら局を選択して	うを選択し「参加させ としています。参加さ	る)ボタンをク させる場合は 20007 2007	リックしてください。 正しい設定に変更してくだ を ープ
 	発見局数:2. ラ ネットワークプロ: ネットワークプロ: 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 " 」 "	た参加局数:2 ジェクトに参加させる _GP?、局の種業類を 	0場合は、その月 Pro-Server E2 OK 5月を選択して ンセル	うを選択し「参加させ としています。参加さ	る]ボタンをク せる場合は 経過時間 00:07	リックしてください。 正しい設定に変更してくだ えた
、 、 、 後索完了 未参加局を 注意 不明 ざい。	発見局数:2、ヲ ネットワークプロ: な局は、局名を	未参加局数:2 ジェクトに参加させる _GP?、局の種類を 	が場合は、そのた Pro-Server E> OK	品を選択し[参加させ としています。 参加さ	る]ボタンをク 5せる場合は	リックしてください。 正しい設定に変更してくだ

MEMO ・ 参加局の検索を実行するには、『Pro-Server EX』が起動している必要があります。起動していない場合、次のようなメッセージが表示されます。

<mark>参加局の</mark>	検索
2	参加局と通信するためPro-Server EXを起動します。
	よろしいですか?

[はい]をクリックすると、『Pro-Server EX』が起動し、参加局の検索を開始します。 [いいえ]をクリックすると、参加局の検索を中止します。

3 確認後、[OK] ボタンをクリックします。

参加局の検索			
i)	検索完了 発見局数:2、未参加局数:2 未参加局をネットワークプロジェクトに参加させる場合は、その局を選択し[参加させる]ボタンをクリックしてください。 注意 不明な局は、局名を_GP?、局の種類をPro-Server EXとしています。参加させる場合は正しい設定に変更してくだ さい。		

4「参加局の検索」画面で [未参加] を選択し、 [参加させる] ボタンをクリックします。

参加局の検索				×
参加状能	IPアドレス	局名	機器の種類	参加月
未参加	192.168.0.100	_AGP1		GP30
天参加	192.168.0.1	_PC1		Pro-S
				_
•				
				紅迴時間
新たにネット	ワークに参加させる	局を選択してくた	ざい。	00:03
+ ho + 447		. Inut 1		
	° [2]	1011		

選択した未参加局が参加局として登録され、参加局一覧に仮の名前で表示されます。

🎭 Pro-Studio EX test2.npx
ファイル(E) 編集(E) ツール(T) プログラミ
💋 スタート ン 🔪 参加局 ン
参加局の追加
😼 参加局の削除
参加局の検索

- **MEMO** 複数の未参加局を同時に選択するには、[Shift] キーを押しながら未参加局をクリックします。
 - SP-5B4*/WinGP、SP-5B00/5B10/5B90、GP4000/LT4000 シリーズ、GP3000 シリーズ、 LT3000(画面プロジェクトファイル転送済みの局に限る)を参加させる場合、以下の画 面が表示されます。

プロジェク	トファイルのインボート 🛛 🕅
2	GP3000シリーズ局のシンボル情報もインポートしますか?

画面プロジェクトファイルが持つシンボル変数情報も同時にインポートする場合は [は い] ボタン、インポートしない場合は [いいえ] ボタンをクリックします。

5 参加局一覧の参加局名をクリックします。



選択した参加局の詳細が画面右に表示されます。

💱 Pro-Studio EX test2.npx	
ファイル(E) 編集(E) ツール(T) プログラミン	/グ補助(P) 設定(S) ヘルプ(H)
💋 スタート ン 🟹 参加局 ン	
参加局の追加 多加局の削除	参加局の種類 C SP-5B4*/WinGP C SP-5B10 C GP4000/LT4000シリーズ © GP3000シリーズ C LT3000 C GPシリーズ
● 参加词处使来 □ ▼ Pro-Server EX □ ▼ Pro-Server EX	局名 IPアドレス AGP1 192_168_0_100
→ SP-5B4*/WmGP → SP-5B10 → GP4000/114005/1)-ズ GP4000/11-0 GP8005/10-ズ GP3005/10-ズ	「 機器情報とシンボル情報のリンク © プロジェクトファイル ご 自動更新 ご 介いデストル の読えみ
□====================================	
	メーカー 三菱電機(株) ▼ 機器の種類 Q シリーズ CPU 直結 ▼ ボートの種類 COM ▼ ボート設定 最大 1 文字列モード 2 ± 削以除 機器の設定
 ▼ 𝒴− 𝒴− 𝒴− 	システムエリア機器 (PLC1 二 光韻子) イス (D0000000) 画

6 接続機器に関する各設定を行います。

設定内容の詳細については「31.1.1 参加局を登録しよう」をご覧ください。

MEMO• 局名を変更するには、[局名] テキストボックスまでカーソルを移動させ、新しい局名 を入力します。

7 [登録] ボタンをクリックします。

設定した内容で参加局を登録します。



参加局一覧の表示形式には「ツリー」「リスト」の2種類があります。(通常、参加局一覧はツリー形式で表示されます。)
 ツリー形式では、最上層に参加局の種類が表示され、各下層に参加局名および接続機器名が表示されます。

リスト形式では、参加局名と IP アドレスが表示されます。



ツリー形式

リスト形式

• 表示の切換は参加局一覧の下部にあるタブで行います。

31.2.2 検索で認識されないときは

検索を実行して参加局が認識されない場合は、以下の項目を確認してください。

①ケーブル、LAN ハブの確認

イーサネットケーブルが抜けていないか確認してください。

②パソコンおよび表示器側のネットワーク設定の確認

IP アドレス、サブネットマスクが正しく設定されているか確認してください。

表示器の設定の確認

☞ 「2.4 表示器のネットワーク設定をしよう」

- パソコン設定の確認
- ^{② 「2.3} パソコンのネットワーク設定をしよう」
- **MEMO** ・ 以下の方法により、IP アドレスおよびサブネットマスクの設定を確認することもできます。

① Windows の [スタート] ボタンから [すべてのプログラム (P)] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] を選択します。

②コマンドプロンプト画面で、"ipconfig"と入力します。

③以下の画面の通り、[IP Address] (IP アドレス) および [Subnet Mask] (サブネットマ スク) が表示されます。

31.3 画面プロジェクトファイル (PRX) からも情報を Get できる!

『GP-Pro EX』で作成した画面プロジェクトファイル(*.PRX)から、接続機器情報とシンボル変数情報を取り込む(インポート)ことができます。

インポートすることで、短時間で正確な参加局情報を登録できます。



МЕМО	 画面プロジェクトファイルから得られる情報は、接続機器情報とシンボル変数情報で
	す。『Pro-Studio EX』で同じ情報を再度入力する手間を省きます。
	また、『GP-PRO/PB III for Windows』で作成した画面プロジェクトファイル(*.PRW)か
	らも情報を得ることができます。

この節では、パソコンに保存されている作成済みの画面プロジェクトファイル(PRX)の情報をイン ポートするための設定について説明します。

1 状態バーの [参加局] アイコンをクリックします。



2 画面左のツリー表示から参加局の種類を選択し、[参加局の追加] ボタンをクリックします。



3 [局名] および [IP アドレス] (GP シリーズは [局名]、[IP アドレス] および [サブネットマスク] を入力。必要であれば [ゲートウェイ] も入力) を入力します。

4	参加局の追加			x
	参加局の種類			
	C Pro-Server EX	© SP-5B4∗/WinGP	C SP-5B10	○ GP4000/LT4000シ リーズ
	◎ GP3000シリーズ	C LT3000	○ GPシリーズ	
	局名		IPアドレス	
	AGP1		192,168,0,100	

4 [機器情報とシンボル情報のリンク]をチェックします。

	局名		IPアドレス		
	AGP1		192,168,0,100		
(✓ 機器情報とシンボル情	報のシング			
	◎ プロジェクトファイル			参照	□□ 自動更新
	○ オンラインで情報 の読込み	更新			

MEMO • [自動更新] をチェックすると、読み込んだ画面プロジェクトファイルに変更があった 場合、自動で更新を実行します。

31.5 🖉	設定ガイド	L
--------	-------	---

情報インポートの確認画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。

参加局の編集			
۰	作画いフトで作成した画面プロジェクトから機器情報とシンボル情報をインポートするリンクモードに切り替えます。 プロジェクトファイルを指定してください。 このモードでは手動による機器情報の編集はできません。		

情報のインポートが可能なリンクモードに切り替わります。

 MEMO・ [機器情報とシンボル情報のリンク]のチェックを外すと、下記のリンクモードの解除 を確認する画面が表示されます。
 [OK] ボタンをクリックすると、リンクモードが解除されます。

参加局の	窪集 × ×
i	リンクモードを解除し、手動による機器情報の編集を可能にします。
	(OK)

接続機器の種類によっては、[機器情報とシンボル情報のリンク]のチェックを外して
 も、手動で機器情報を編集することはできません。

5 [プロジェクトファイル]を選択し、[参照] ボタンをクリックします。

局名		IPアドレス	
AGP1		192,168,0,100	
 課器情報とシンボル情 ⑦ プロジェクトファイル プロジェクトファイル かンラインで情報 の読込み 	報のリング ― 更新		参照 日動更新

「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

ファイルを開く					? ×
ファイルの場所①:	🗀 NPXDataBase		•	+ 🗈 💣 🎟•	
していた 最近使ったファイル	🖻 monitor01.prx				
び デスクトップ					
ک ۲۲ (۲۴ع)					
ע-גר אד דע איש					
🧐 २१ २७२७-७					
	ファイル名(N):			•	開(@)
	ファイルの種類(工):	プロジェクトファイル(*.prx)		•	キャンセル

6 目的の画面プロジェクトファイル (*.prx) を選択し、[開く] ボタンをクリックします。

ファイルを開く					? ×
ファイルの場所の	DPXDataBase		•	+ 🗈 💣 🎫	
していたファイル	monitor.prx				
び デスクトップ					
ک ۲۲ ۴۴۱メント					
פרביצעב אד					
🧐 २१ २७२७-७					
	ファイル名(N):	monitor.prx		•	
	ファイルの種類(工):	プロジェクトファイル(*.prx)		•	キャンセル

「プロジェクトファイルのインポート」画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。

プロジェク	トファイルのインボート 🛛 🗵
i)	0件のシンボルがエラーです。 0件のシンボルを登録しました。
	ОК

画面プロジェクトファイルで設定されている接続機器の情報が、[接続機器] タブ内の各項目に表示 されます。

▶ 機器情報とシンボル情報のリング		
○ プロジェクトファイル ○¥Progr	′am Files¥Pro-face¥Pro-S€	参照 🗌 自動更新
○ オンラインで情報 更新 のまれます。	ff -	
		新日時 2006-03-07 13:24:52
	接続機器の追加	接続機器の削除
接続機器 - 1		·
メーカー 三菱電機(株)	▼ 機器の種類 A	シリーズ CPU 直結
ポートの種類 COM -	ポート設定 最大 1	文字列モード 2 🕂
削除		
機器名	機器の設定	
PLC1	シリーズ=AnAシリーズ	
र		Þ
システムエリア機器 PLC1	システム システム 先頭デ)	
	登録	キャンセル

7 [登録] ボタンをクリックします。 設定した内容で参加局が登録されます。

MEMO ・ 取り込んだロジックプログラムの変数(変数方式)は、「参加局名_LOGIC」という新し いシンボルシートに登録されます。

☆ Pro-Studio EX ?npx ファイル(E) 編集(E) ツール(T) プログラミン	グ補助(P) 設定(S) へ	ルプ(日)				<u> </u>
💋 スタート ン 🟹 参加局 ン	Þ эржи ⋗ 葇	🤾 機能 > 📑	保福	7 >> 🆄	転送	大況監視
ーシンボル ――――	局名_AGP1		榐	器名 #INTERNAL		
グループ化 グループ解除	si⊂k-42 AGP1		ក្រមវ័រ	ふうずルシートにオス		
挿入 削除	2 1401-141		20 7/4	·>>/////> 11296	20	
コピー 切り取り 貼り付け	シンボル	データタイプ	連続	デバイスアドレス	データ個数	
	スイッチ	Evh		M_0000	1	
ieta Bille	ランプ_01	ビット		M_0001	1	
	スイッチ_01	ビット		M_0002	1	
新物イーット / 本田マビレコ 、町	スイッチ_02	ሥ		M_0003	1	
重視テェッジバを用アトレス一見	ランプ_02	, ሥ		M_0004	1	
グローバル定数設定画面	スイッチ_03	ビット		M_0005	1	
	ランプ_03	ピット		M_0006	1	
E ▼ Pro-Server EX	スイッチ_04	К»h		M_0007	1	
	ランプ_04	ビット		M_0008	1	
► SP-5B4*/\/inGP	スイッチ_05	ビット		M_0009	1	
→ SP-5B10	ランプ_05	ビット		M_0010	1	
	スイッチ_06	, ሥንኮ		M_0011	1	
白…▼ GP3000シリーズ	ランプ_06	۳		M_0012	1	
	スイッチ_07	ビット		M_0013	1	
#INTERNALSheet1	ランプ_07	ピット		M_0014	1	
#INTERNAL: AGP1 LOGIC	停止_01	ビット		M_0015	1	
→ LT3000	停止_02	ビット		M_0016	1	
▶ GPシリーズ	停止_03	ビット		M_0017	1	
└─ ▶ グローバルシンボル	停止_04	ビット		M_0018	1	
	停止_05	ビット		M_0019	1	_

31.4 画面プロジェクトファイル (PRX) 転送済みの表示器からも情報を Get できる!

表示器に転送した画面プロジェクトファイル(*.PRX)から、ネットワークを通じて接続機器の情報 とシンボル変数の情報を取り込む(インポート)ことができます。

『GP-Pro EX』で作成した画面プロジェクトファイルを利用すれば、短時間で正確な参加局情報を登録 できます。



MEMO・表示器の画面プロジェクトファイルから得られる情報は、 接続機器の情報とシンボル変数の情報です。『Pro-Studio EX』 で同じ情報を再度入力する手間を省きます。この機能は GP シリーズ局以外の表示器で使用できます。

この節では、ネットワーク上の各表示器から画面プロジェクトファイル (PRX)の情報をインポート するための設定について説明します。 1 状態バーの [参加局] アイコンをクリックします。

🂱 Pro-Studio EX 🛛 ?.npx	
ファイル(E) 編集(E) <u>パール(T) プログラ</u>	ミング補助(P) 設定(5)
29-1 29-1 多加局	≫ 찯 эンжи .
- サンプルウィザード	
新規にネットワークを構築します。 サンプルを選択してください。	
JJJW EXENCOCULEUR	帳亜作成
💁 帳票作成	
😵 ৮৯৫	『Pro-So ど、Excel形
🚱 データロギング	『帳票作
Mail送信	のテンプレー 成します。 更となる語3
Mail送信	成します。 悪となる設う

2 画面左のツリー表示から参加局を選択し、[参加局の追加] ボタンをクリックします。

💱 Pro-Studio EX 🤋 ?лрх	
ファイル(E) 編集(E) ツール(T) プログ	173
29-1 >> 🐚 参加局 .	>>
📑 参加局の追加	
🔒 参加局の削除	
◎ 参加局の検索	
Pro-Server EX	7
► SP-5B4*/WinGP	
► SP-5B10	
• L13000	
GPシリーズ	

3 [局名] および [IP アドレス] を入力します。(GP シリーズは [サブネットマスク] や、必要に応じて [ゲートウェイ] も入力します。)

181	参加局の追加			X
	参加局の種類 C Pro-Server EX C GP3000シリーズ	C SP-5B4*/WinGP C LT3000	○ SP-5B10 ○ GPシリーズ	C GP4000/LT4000シ リーズ
	局名 AGP1		IPアドレス 192_168_0_100	

4 [機器情報とシンボル情報のリンク]をチェックします。

局名		IPアドレス		
AGP1		192_168_ 0 _100		
✓ 懇器情報とシンボル情報				
⊙ プロジェクトファイル			参照	□□ 自動更新
○ オンラインで情報 の読込み	更新			

情報インポートの確認画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。

参加局の	e <u></u>
i	作画ソフトで作成した画面プロジェクトから機器情報とシンボル情報をインボートするリンクモードに切り替えます。 プロジェクトファイルを指定してください。 このモードでは手動による機器情報の編集はできません。

情報のインポートが可能なリンクモードに切り替わります。

 MEMO
 「機器情報とシンボル情報のリンク」のチェックを外すと、下記のリンクモードの解除 を確認する画面が表示されます。
 [OK] ボタンをクリックすると、リンクモードが解除されます。

参加局の	
į	リンクモードを解除し、手動による機器情報の編集を可能にします。
	(OK

接続機器の種類によっては、[機器情報とシンボル情報のリンク]のチェックを外して
 も、手動で機器情報を編集することはできません。

5 [オンラインで情報の読込み]を選択し、[更新]をクリックします。

局名	IPアドレス	
AGP1	192_168_0_100	
 ✓ 機器情報とシンボル情報のリンク ○ プロジェクトファイル ● オンラインで情報 ● の読込み 		参照 自動更新

「オンラインで情報の読込み」 画面が表示され、 手順4で入力した IP アドレスの表示器と通信を開始します。 表示器側はオフラインに移行せず、 オンラインで読み込みを行います。

オンラインで情報の読込み	
参加局(AGP1)の 機器情報とシンボル情報を取得しています。	

MEMO
 表示器側で「転送パスワード」を設定されている場合、「転送パスワード入力」画面が表示されます。
 パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

6 通信が終了すると、画面プロジェクトファイルで設定されている接続機器の情報が、[接続機器]タ ブ内の各項目に表示されます。

 	
● オンラインで情報 の読込み ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	最終更新日時 2006-03-07 13:24:52
接続機器 - 1	接続機器の追加 接続機器の削除
メーカー 三菱電機(株) ポートの種類 同期後 機器名	 2 機器の種類 A シリーズ CPU 直結 ▼ ト設定 最大 1 文字列モード 2÷ 機器の設定
▶ PLC1	シリーズ= An Aシリーズ
1	<u> </u>
システムエリア機器 PLC1	システムエリア D0000 売頭デバイス
	登録 キャンセル

7 [登録] ボタンをクリックします。 設定した内容で参加局が登録されます。

 MEMO・転送設定画面で[参加局のオンライン確認]ボタンをクリックすると表示器に転送した 画面プロジェクトファイル (PRX)と取り込んだ (インポート)情報が同じかどうか確 認することができます。詳しくは「26 転送について」をご覧ください。 設定ガイド

31.5 設定ガイド

31.5.1 Pro-Server EX 局

この項で説明する設定は、以下の条件で表示される画面で行うものです。

- 1) 参加局一覧で「Pro-Server EX」を選択し、[参加局の追加] ボタンをクリックしたとき
- 2) 参加局一覧の参加局名をクリックしたとき

参加局の追加 一参加局の種類			X
 Pro-Server EX 	© SP-5B4∗/WinGP	C SP-5B00/5B10/5B90	⊂ GP4000/LT4000シ リーズ
○ GP3000シリーズ	C LT3000	○ GPシリーズ	
局名		IPアドレス	
PC1		192,168, 0, 1	
		登録	キャンセル

設定項目	設定内容
設 定 項 目 参加局の 種類	設定内容 「Pro-Server EX」が選択されています。 MEMO ・参加局の種類を変更すると、下記の画面が表示されます。 参加局の種類の変更 参加局の種類を変更します。変更すると接続機器とシンボルの情報が削除されます。 はい(Y) (Xいえ(N))
	[はい] ボタンをクリックすると、設定されている接続機器情報およびシンボ ル変数情報は削除されます。

設定項目	設定内容
局名	登録する参加局の名称を入力します。 例) PC_1
	 MEMO 名称入力時の制限事項は以下の通りです。 入力可能な文字数は 32 文字までです。 先頭に数字を入力することはできません。 大文字と小文字、ひらがな、カタカナは区別されます。
IP アドレス	参加局の IP アドレスを入力します。

31.5.2 SP-5B4*/WinGP 局、SP-5B00/5B10/5B90 局、GP4000/LT4000 シリーズ局、 GP3000 シリーズ局、LT3000 局

この項で説明する設定は、以下の条件で表示される画面で行うものです。

- 参加局一覧で「SP-5B4*/WinGP」、「SP-5B00/5B10/5B90」、「GP4000/LT4000 シリーズ」、「GP3000 シリーズ」、「LT3000」のいずれかを選択し、[参加局の追加] ボタンをクリックしたとき
- 2) 参加局一覧の参加局名をクリックしたとき

参加局の追加		2
─参加局の種類───		
C Pro-Server EX	⊂ SP-5B4*/WinGP	● SP-5B00/5B10/5B90 ● GP4000/LT4000シ リーズ
● GP3000シリーズ	C LT3000	O GP9U-X
局名		IP アドレス
AGP1		192,168,0,100
□ 機器情報とシンボル情		
◎ ブロジェクトファイル		参照 「自動更新
○ オンラインで情報 の読込み	更新	
-		接続機器の追加 接続機器の削除
接続機器 - 1		
メーカー	▼ 機器の	□種類
ポートの種類	7	Ҟ−ト設定 最大 文字列モード 1 🛨
削除		
機器名	機器の設定	Ē
システムエリア機器	Y	システムエリア
		登録 キャンセル

設定項目	設定内容
参加局の種類	 選択した参加局にチェックが入っています。 MEMO 参加局の種類を「Pro-Server EX」または「GP シリーズ」に変更すると、下記の画面が表示されます。 参加局の種類の変更 参加局の種類を変更します。変更すると接続機器とシンボルの情報が削除されます。

設定項目	設定内容		
局名	 登録する参加局の名称を入力します。 例)AGP_1 MEMO 名称入力時の制限事項は以下の通りです。 入力可能な文字数は 32 文字までです。 先頭に数字を入力することはできません。 大文字と小文字、ひらがな、カタカナは区別されます。 		
IPアドレス	参加局の IP アドレスを入力します。		
機器情報とシンボル情 報のリンク	 画面プロジェクトファイル(*.PRX)から機器情報やシンボル情報を取得します。 MEMO 『Pro-Studio EX』で同じ情報を再度入力する手間を省きます。 		
プロジェクトファイル	パソコンのフォルダ内にある画面プロジェクトファイルを選択します。		
参照	「ファイルを開く」画面が表示されます。 この画面から使用する画面プロジェクトファイルを選択します。		
自動更新	 読み込んだ画面プロジェクトファイルに変更があった場合、自動更新を実行します。 更新が発生した場合は、下記のメッセージが表示されます。 業器情報/シンボル情報が更新されました。自動インボートしますか? 運動に、「はい?」 いえ() 更新された情報をインボートする場合は、[はい] ボタンをクリックします。 また、リンク状態を示す以下のメッセージが表示されます。 自動更新が成功した場合「リンクは最新です。 最終リンク日時 yyy/mm/dd hh:mm:ss」 リンクエラーが発生した場合 「最新の更新に失敗しました 最終リンク日時 yyy/mm/dd hh:mm:ss」 更新時のメッセージで[キャンセル]を選択した場合 「最新の更新はキャンセルされました。 最終リンク日時 yyy/mm/dd hh:mm:ss」 		
オンフィンで情報の読 込み	参加局として登録している表示器からオンラインで転送済みの画面プロジェクト ファイルの機器情報やシンボル情報を取得する場合に選択します。		
更新	オンラインで画面プロジェクトファイルの情報の読み込みを実行します。		

設定項目	設定内容	
接続機器の追加	接続機器を追加します。 4 ドライバまで追加できます。追加された接続機器はタブで表示されます。 接続機器の追加 接続機器の削除 接続機器 - 1 メーカー 三菱電機(株) メーカー 三菱電機(株) 水ートの種類 COM 水ート設定 最大 単以除 機器の設定 ・ PLC1 シリーズ=AnAシリーズ ・ システムエリア機器 PLC1 システムエリア システムエリア機器 PLC1 システムエリア ● ● 23縁 キャンセル	
接続機器の削除	 LT3000 を選択している場合は、1 局につき接続できる接続機器は1台のみです。 現在表示されている接続機器を削除します。 クリックすると、「xxx(接続機器名)を削除します。よろしいですか?」というメッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックすると、削除を実行します。 	
×_+_	9。	
メーカー	按続機器の♪ ー ルー 石を選択します。	
	表示哭と接続挫哭を接続するポートの種類を選択します。	
ボート設定	通信の詳細設定を行います。 詳細については、『GP-Pro EX 機器接続マニュアル』で該当するメーカーの「通信 設定」をご覧ください。	
最大	接続できる接続機器の最大台数が表示されます。 MEMO ・ 最大台数は変更できません。	
文字列モード	接続機器の文字列モードを指定します。 詳細については、「31.5.4 文字列モードについて」をご覧ください。	
機器名	 接続している接続機器の名称を入力します。名前入力時の制限事項は以下の通りです。 入力可能な文字数は 32 文字までです。 先頭に数字を入力することはできません。 MEMO 接続機器の情報については、『GP-Pro EX』で設定した内容を確認し、それに合わせて設定を行うようにしてください。機器名などが一致していない場合は通信が行えません。 	

設定項目	設定内容
機器の設定	接続機器の機器設定を行います。
	МЕМО
	 ・ 設定内容は接続機器によって異なります。詳細については、『GP-Pro EX 機器接続マニュアル』で該当するメーカーの「通信設定」をご覧ください。 SP-5B4*/WinGP 局、SP-5B00/5B10/5B90 局、GP4000/LT4000 シリーズ局を選択している場合は[タグデータ]の[ビュー]が選択できます。 詳細については「■ タグリスト」をご覧ください。
システムエリア機器	システムエリアを割り当てる接続機器を選択します。
	МЕМО
	 初期設定では、『GP-Pro EX』の「システム設定ウィンドウ」→ [本体設定] → 「システムエリア設定」画面の[システムエリア機器]で設定された機器名が 表示されます。
	^{「②} 『GP-Pro EX リファレンスマニュアル』
	システムエリアを割り当てるデバイスアドレスを入力します。直接入力するか、 電卓ボタンをクリックし、デバイスアドレス入力画面で入力します。
システムエリア先頭デ	МЕМО
バイス	 初期設定では、『GP-Pro EX』の「システム設定ウィンドウ」→ [本体設定] → 「システムエリア設定」画面の [システムデータエリア] で設定されたデバイ スが表示されます。
	^{「②予} 『GP-Pro EX リファレンスマニュアル』
登録	設定した内容で参加局を登録します。

■ タグリスト

GP-Pro EX のプロジェクトファイル(.prx) にインポートした接続機器のタグ情報が確認できます。 タグは接続機器のアドレスに割り付ける任意の名称で、接続機器メーカーによっては「変数」や「シ ンボル」とも呼ばれます。

対応しているドライバは『GP-Pro EX リファレンスマニュアル』を参照してください。

D D1		7 1 671	<u>ر ا</u>	ント	
DBI	DB1	DB00001.DBB00000			

設定項目	設定内容
タグデータ名	GP-Pro EX のプロジェクトファイル (.prx) にインポートした接続機器のタグ データ名が表示されます。
データタイプ	表示するデータタイプを選択します。選択したデータタイプのタグのみ表示され ます。
使用	[すべて]、[使用中]、[未使用]から表示するタグを選択します。
更新	[データタイプ]と[使用]で設定した条件に従って、一覧の表示を更新します。
一覧	[タグ]または[データタイプ]タブでタグの表示内容を切り替えることができま す。タグの内容によって表示される項目が異なります。 [タグ]:タグ単位の情報を一覧表示します。 [データタイプ]:プロジェクトに含まれるデータタイプを一覧表示します。 MEMO ・[データタイプ]タブにある[全展開]および[全省略]をクリックすると、一 覧表示されている情報を一括で展開/縮小表示できます。
インポート	
エクスポート	
全展開	Pro-Server EX ではタグの編集や追加はできません。
全省略	GP-Pro EX のプロジェクトファイル(.prx)で編集や追加を行う必要があります。 詳細については、『GP-Pro EX リファレンスマニュアル』の「接続機器のタグを使
追加	用したい」をご覧ください。
編集	
削除	

31.5.3 GP シリーズ局

この項で説明する設定は、以下の条件で表示される画面で行うものです。

- 1) 参加局一覧で「GP シリーズ」を選択し、[参加局の追加] ボタンをクリックしたとき
- 2) 参加局一覧の参加局名をクリックしたとき

参加局の追加				×
─参加局の種類 ────				
C Pro-Server EX	© SP-5B4∗/WinGP	C SP-5B00/5B	10/5B90 C GP4	1000/LT4000シ ズ
○ GP3000シリーズ	O LT3000	● GPシリーズ		
局名		IPアドレス	サブネットマスク	ゲートウェイ
GP1		192,168,0,100		
□ 機器情報とシンボル情	鞣服のリンク			
プロジェクトファイル			参照	□ 自動更新
機器の種類			▼ 文字列4	F-K 13
			アドレス不連続	の補正 -1 🗄
			登録	キャンセル

設定項目	設定内容
参加局の種類	「GP シリーズ」が選択されています。 MEMO • 参加局の種類を変更すると、下記の画面が表示されます。 参加局の種類の変更 ② 参加局の種類を変更します。変更すると接続機器とシンボルの情報が削除されます。 はい(Y) 【いえたい)
	[はい] ボタンをクリックすると、設定されている接続機器情報およびシンボ ル変数情報は削除されます。

設定項目	設定内容		
局名	登録する参加局の名称を入力します。 例)GP_1 MEMO • 名称入力時の制限事項は以下のとおりです。 • 入力可能な文字数は32文字までです。 • 先頭に数字を入力することはできません。 • 大文字と小文字、ひらがな、カタカナは区別されます。		
IPアドレス	参加局の IP アドレスを入力します。		
サブネットマスク	参加局が参加しているネットワークのサブネットマスク値を入力します。		
ゲートウェイ	ゲートウェイを通じて参加局にアクセスする場合、ゲートウェイの IP アドレスを入力します。		
機器情報とシンボル変 数情報のリンク	画面プロジェクトファイル(*.PRX)から機器情報やシンボル変数情報を取得します。 MEMO ・『Pro-Studio EX』で同じ情報を再度入力する手間を省きます。 ・自動更新を指定しない場合、画面プロジェクトファイル(*.PRX)を編集する と手動で更新する必要があります。編集したファイルを指定して[参照]ボタ ンをクリックすると、再度インポートが行われます。		
プロジェクトファイル	パソコンのフォルダ内にある画面プロジェクトファイルを選択します。		
参照	「ファイルを開く」画面が表示されます。 この画面から使用する画面プロジェクトファイルを選択します。		
自動更新	この画面から使用する画面プロジェクトファイルを選択します。 読み込んだ画面プロジェクトファイルに変更があった場合、自動更新を実行しま す。更新が発生した場合は、下記のメッセージが表示されます。		
機器の種類	接続機器の種類を選択します。		
文字列モード	接続機器の文字列モードを指定します。 詳細については、「31.5.4 文字列モードについて」をご覧ください。		

設定項目	設定内容
アドレス不連続の補正	プロトコル通信の最適化を行うデータ数を設定します。 「-1」の場合、プロトコルがサポートする最大データ数が採用され、最適化処理 が実施されます。 「0」の場合、最適化処理を実施しないため、1 アドレス離れたアドレス空間は不 連続として扱われます。アクセスすると不都合が発生するデバイスが存在する環 境下でご利用ください。 MEMO ・ 入力範囲は、-1 ~ 255 です。
登録	設定した内容で参加局を登録します。

31.5.4 文字列モードについて

文字列の並び方は、各接続機器のメーカーによって異なります。 ご使用の接続機器をご確認いただき、文字列の格納順序を以下の表から選択し、文字列モードを設定 してください。

- (I) データのデバイス格納順序
- (II) ワード内のバイト LH/HL 格納順序
- (III) ダブルワード内のワード LH/HL 格納順序
- MEMO
 ・ 文字列モードが表示器の表示と『Pro-Server EX』で合っていないと、読み込む文字列が 合わず、文字列としての処理を正常に行えません。
 表示器の文字列モードの設定は、『GP-Pro EX』の「システム設定ウィンドゥ」→「接続 機器設定」画面の文字列データモードで行います。

■ 文字列モード一覧

(I) データのデバイス格納 順序	(II) ワード内のバイト LH/HL 格納順序	(III) ダブルワード内の ワード LH/HL 格納順序	文字列モード
	「日間	LH 順	4
生雨ゴークから枚純	LII順	HL 順	2
元與ナーダから恰利	111 川豆	LH 順	5
	HL 順	HL 順	1
	I II III	LH 順	6
- 男奴データから牧幼	しロ川県	HL 順	7
頭ボジーダから俗称	UI 順	LH 順	8
		HL 順	3

例) 文字列 "ABCDEFGHIJ" の場合、以下のように並び替えが行われます。

文字列 A B C D E F G H L J

AB CD EF GH IJ	文字列モード4
BA DC FE HG JI	文字列モード2
CD AB GH EF IJ	文字列モード5
DC BA HG FE JI	文字列モード1
IJ GH EF CD AB	文字列モード6
JI HG FE DC BA	文字列モード7
GH IJ CD EF AB	文字列モード8
HG JI DC FE BA	文字列モード3

31.6 制限事項

■ 画面プロジェクトファイルや画面プロジェクトファイル転送済みの表示器からシンボル情報を取り込む(インポート)ときのご注意

次の点にご注意ください。

- 『GP-Pro EX』および『GP-PRO/PB III for Windows』の画面プロジェクトファイルをインポートした場合、ワードシンボルのデータタイプは「Unknown」(未定義)となります。『Pro-Studio EX』で再度データタイプを設定してください。
- 「Unknown」(未定義)を再設定する際、Bitタイプを指定することはできません。
- リアル変数および R xxxx は、取り込み(インポート)することはできません。
- デバイスアドレスの文字列が255文字を超える場合、取り込み(インポート)することができません。

■ ロジックプログラムで作成した変数をインポートしたときのご注意

次の点にご注意ください。

- ロジックプログラムで作成した変数をインポートした場合、インポートされたシンボルシートの 内容を編集することはできません。
 編集したい場合は、インポートされたシンボルシートの内容を別のシンボルシートへコピーして ください。コピーしたシンボルは編集することができます。
- タイマ変数、カウンタ変数、日付変数、時刻変数、PID 変数は、グループとしてインポートされ ます。
- 配列変数の場合、配列の要素数がデータ個数に置き換わります。
- 配列変数の最大要素数は4096です。『Pro-Server EX』で規定しているシンボルのデータ個数を超 えるとシンボルが分割されてシンボルシートに登録されます。

Pro-Server EX	『で扱うこ』	とのできる	変数の型別と	データ個数の:	最大は、以	下の通りです。
TIU-Server EA			を数の主力に	/ / 回致//	収八は、ど	

変数の型別	データ個数の最大
ビット変数	255
整数変数	510
フロート変数	510

- 例) 要素数 2000 個の整数型変数 "ポンプ"をインポートした場合
 - シンボル1個目 ポンプ シンボル2個目 ポンプ_510_1019 シンボル3個目 ポンプ_1020_1539 シンボル4個目 ポンプ_1540_1999

■ インポートするときのご注意

- すでに設定されている、接続機器情報、シンボル情報および参加局検索時のシンボル変数情報が すべて削除され、インポートした情報に置き換わります。
- グローバル定数が設定されているファイルをインポートすると、既に設定されているグローバル 定数がすべて削除され、インポートしたグローバル定数に置き換わります。

■「機器機器とシンボル情報のリンク」のご注意

- 参加局設定の「機器情報とシンボル情報のリンク」において、次の条件を満たす場合、リンクすることができません。
 - ・ 『GP-Pro EX』で接続機器名が数値から始まる名称で設定されている PRX ファイル
 - その PRX ファイルが転送されている表示器

上記条件の場合、接続機器名が数値以外から始まるように『GP-Pro EX』で設定を変更してください。